

出現しているのも珍なることであつた。三角公園の名に相應しく、三角形をなしている公園の、舞台のあるを頂角とするならば、残る二つの底角に、それぞれ又々たかれ、併算者の五、六十人程が腰を取つていた。

出現しているのも珍なることであつた。三角公園の名に相應しく、三角形をなしている公園の、舞台のあるを頂角とするならば、残る二つの底角に、それぞれ焚火たかれ、労働者の五、六十人程が腰を取つていた。

ところを記者諸兄よ、最近新聞紙上などでもあまり目にしなくなつた。労働者なる言葉がここに立ち更われてゐることに、奇異な感を覚えられますか。なほ、労働者。なる言葉を使うか、まづは次なる朝日新聞の記事中（一一月一四日付朝刊）よりの引用を御覧願いたい。

力的な死に、必然的におちいるような、そうい
う状態におくならば、また、社会が、何千の
々から必要な生活条件をうはい、彼らを生きて
ゆけ、よいような状態におくならば、また、社会
が、法律という強力な腋によつて、この状態の
当然の結果たる死の訪れるまでこの状態にま
まることを、彼らに強制するならば、また、社
会が、この何千の人々がこうした諸条件の集
まるに違ひないということを知りすぎる

四年一月までの「釜ヶ崎医療を考える会」を中
心とする、仲間のおのちを守る、活動から、順
に報告していきたい。今回は、肺結核、

釜ヶ崎は結核菌培養基地である

釜ヶ崎には結核患者が多い。行政機関などの
調査が時々新聞にのるが、そこにあけられた電
着服はおおかたウリだ。そう思う。もっている、
そんなに少なくない、と思う。根拠をのべる。
釜ヶ崎に結核患者が多いのか、結核は、
文字通り、肺が結核菌にあかされておこる。
しかし結核菌に感染しているのはほとんどの人
だ。みな同じである。ヘルさい菌、ツベルクリ
ン反応を調べて陽性だ。たらBCGの注射をし
たのを受えていると思う。それならば、どん
な人が、どんな条件のもとで感染するのか。た
いていの本にはこう書いてある。「菌の抵抗力が
強かったり、菌の量が多かったり、体の抵抗力
が衰えたりしたとき発病する」と。

一人の人間が、肺結核として、釜ヶ崎で、生
きていくとき、どう結核菌にとり、有利で、ど

白血球中心のため血液の酸性化をまねく。野
をあげておうと思えば、二、三の円出して野
をけらやをどらねばならぬ。フライなどにつ
いてはいるキャベツ、パセリは、まったくの無り
で、まいもしてないものが多い。このように
して抵抗力の弱った体に、ようし、なく強い菌
がおそいかかる。かかってもヒドくなるまで、
体がたもつだけなれば、とかわせどと、皆
うため、飯をへび、てから気がつくこともあるが、
かかっただけはやはり釜ヶ崎だ、

釜ヶ崎は結核菌培養基地である。医療センタ
ー所長本田寛氏も、その著書に、釜ヶ崎
結核菌の伝播と結核患者とを関係し合
わせて見ると、三年以上いる人が約四割を占
めていた。このことは、古い人たちが巨大な肥
満者になっていくという現実を物語る、長く生
めばすむほど感染の危険性の強いのは当然だと

へ発病の原因の一つは、口々に医者への助けをう
ることができない点にある、といえるか。

う人間にとつて不利な条件があるか。結核から
言えば、ある、しかも、そろそろすぎるほどそろ
っている、ということだ。

仕事、その単純な労働形態は、重労働が多く、
たとえ一時的な休息があっても、大部分は
不安定であり、その心と体は休まることのない。
食事と住居とのいらいな事情がさらに拍車をか
ける。諸君は、仕事から帰ってくるとき、そこ
に、どんより黒い大阪の、釜ヶ崎の、空を思い
出すだろう。その上、暑さもあるドヤの屋さ
通気の問題。一立てる一室というのなまじい
切になるそのカンオケドヤのなかには臭いの甘い
ものまである。そのカンオケが百以上密集した
一フーフのドヤの通気の問題。一冷暖設備も
ここでは中の汚れきった空気をかき回すだけ。
そのよどみは動かぬ。日暮らし生活——ひん
ぱんは出入り。もし、肺結核の結核患者が一人
でもいれば、というのはここは、固定でなく現
実である。また、単身者の多いここは、ほと
んどが外食するが、どうしても栄養がたよる
生野菜の不足は、ビタミンの欠乏だけでなく、

そうである、といえる。そうではないともい

る。これはどういうことか。へ今回はあやせん
ターへ来るレントゲン検査車、更生館のことか
と書きたいが省略する。

昨年五月中旬、医療を考える会へ相談に来た
Yさんの話を聞こう。Yさんは結核で、府下東
部野尾崎へ南無寺様、尾崎下車、電の七四七二、
二六二にある市立病院に入院していたが、あんな
まりにドイので外出して相談に来たのだ。

——風邪が治癒したのか、二の日前も風邪を
ひかす。上月課長へ患者便へに文句をいう
と、服をフカされ特別看護室へ連れていか
れ、「文句があるならいつでもでいてくれ」とヤ
クサのように言われた。食事制限、近く
でとれる甘いものはかりなので、生食へ生活保
護への要請が口り、と成立を現せてほしい百
言、たけなすにされたり、前後でも軽い人
は病めるが、若い人間はいてもよくなうけいの
で自主退院する。よく死んだら出るが、中には
五、六万円もためてる人がいて、それを上月課
長が預けていてその勢どうな、たか知らない

——手にしっしんができたので、診療と薬を
たのむと、「それは町の薬局で売ってるから
自分の金で買いな、あんたは病棟で入院して
るんやからそんなもんには出せない」と断
わる。

この市立病院は、病棟二〇〇名と内科四〇名
が入院している。生保患者が多い。せいたい、
生保が（行路へ行来）、健保など、「社会保険」
というのは、形態は、社会主義的の労働者のた
めにあるもの。だが、その本質は、庶民が、貧
乏人から有効に金をふんだくることができるよ
うにお上の権力で脅迫するものだ。とはD.I.C
の土方便さんが教えてくれたことだ。

さて、この市立病院、他の人の声を聴こう。
Sさん、二月に、そのD.I.Cに謝えかねて友人
と二人で自主退院。その後、新しい勤め先を見
つけたが、そこが月給制のため当面の生活費が
なく、ほじめ労働福祉センター、次に更生館に
いく。結果にこうなされた。「お前は市立病院
を脱走、暴力で強制退院になったので、警察保
護の適用はできない。あんまりだ。道を教えた

者と更生館退院の申請者とをやりあめる手帳が
あるようだ——一人送り込んぞ二〇〇〇円と
もいう——が、何らにと、そして、病棟に
お上から——とい、でも税金——金が入る患者
たちにと、また「ベッドがない」といいな
から大部分の病棟相手を追い出し、残り五病
病棟のようなどころへ送り込む更生館の職員に
と、今日も、多くの者が病棟者として病棟
に苦しんでいる現実だ。ゼニでしかないのか。

へつづく

釜ヶ崎手帖(1)

静かな「革命」に消えた派出所

いま釜ヶ崎には静かな「革命」が着々と進行
している。も、とも、静かなと言、でも、相当
の物音はする。しかし大衆行動もなければ警察
の出勤もない、静かなとはその意味である。

区画整理、道路の幅をひろげるのと、いわゆ
る不変住宅をとりこわす市街地改造と、二つの

16

ことも、まして軍刀をふるった覚えもない。そ
うSさんは反論したからチがあかす相談にくる。
——ヒドさに、病棟の悪い患者ほど逃げ出す。
でないで殺されるんじやないかと思う。——
二月の一日月内に三〇人以上死んだ。大工が
病棟リヤで来て、庭で一言に五のう七のぐ
らいカンオケを作るのが見える。院長が警察
のため警察署者がでても警を打つて居る時は
警察しない。警察の名義で上月課長は、三文
パンを多く持つていて入院患者日用品をこ
まかく、毎月の支払い日へ六く九日、の直前
にトンコへ逃して、するようにしむけたり。近
くの酒屋の前で喫煙、ていて患者が来るとマ
そらや。たとと強制退院させ、母所の方には
ハンコを使、て退院の前日に金をわたしたこ
とにしてネコバド、病舎のとなりにある院長
のゴルフ場に入ると強制退院。

このSさんは町医家だが、大衆出身の働き
ざかりのKさんなどは難病前なのに結核と誤診
され、病棟の壁をくれレントゲンばかり写され
たという。昭和病棟へ市内住む区からの移り

「公共事業」がその「革命」だ。

道路をひろげる方では、バチンコ屋太一の前
から西町交差点を経て新宮駅前へ、見ればの
かるとおりに、南側がすっかり変ってしまった。
立ちのみの大キーン店細を持つ足立のさ
店や、作業服のマル屋やマル増が、みんな意図
化された。路切の西の、早く意図化された大衆
のあたりとツラをそろえて、道は太分広くなる
勘定だ。統合センター前の、南西意図化のガ
ドの脚も移された。あのガードには車が住んで
いたのだが、工事中はこへねぐらを求めてい
たろう。

こうした「革命」のなかで、ついう、かり
しているうちに、釜ヶ崎現代史の重要な記念物
がいつの間にか消えた。残念なことだが、消え
てしまった現実の前では、せめて文字に書き残
すしかない。

ちよ、といかめしい町名の記録を少し紹介し
よう。

昭和三六年九月十日、衆議院の地方行政委員
会に警察庁の報告が出された。「西町集団移

17